

高齢者ブレインバンク 2022年度公開講座

神経難病専門医が語る

# 脳と身体の仕組み

講演

『神経難病と関わって』

～パーキンソン病を中心に～



国立病院機構相模原病院  
神経内科部長・神経難病研究室長

長谷川 一子

人生それなりに生きてきて最近驚くことが多々あります。それは高齢化社会とネット社会です。私が若い頃は60歳を超えると「人生の先輩」としてある程度の敬意をもって接しましたし、情報は本、新聞、テレビなどから得ておりました。調べ物は原則本で行っており、図書館で重い本を開いて手で書き写す、コピーをとるなど、手間をかけなければならない時代でございました。最近では、70歳はまだ現役、情報は（真偽が怪しいものも少なくない）ネットからが多くなりました。このような時代の変化に神経難病とどう生きていくかを患者さんから学んだことをお話したいと思います。

司会

東京都健康長寿医療センター高齢者ブレインバンク 研究部長

齊藤 祐子

報告

『ブレインバンクの活動報告』

大阪大学大学院連合小児発達学研究科 常勤特任教授

村山 繁雄

東京都健康長寿医療センター高齢者ブレインバンク 研究部長

齊藤 祐子

令和4年11月30日 水

YouTube 配信開始 13時30分から

オンデマンド配信（視聴無料・申込不要）

\*詳細は右をご参照ください。 <https://www2.tmig.or.jp/brainbk/activity/#anc03>



主催



地方独立行政法人

東京都健康長寿医療センター

共催



大阪大学大学院連合小児発達学研究科



高齢者ブレインバンク事務局

地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター

〒173-0015 東京都板橋区栄町35-2

TEL 03-3964-3241 (内線4419)

ホームページ <https://www2.tmig.or.jp/brainbk/>

Eメール [bbar@tmig.or.jp](mailto:bbar@tmig.or.jp)



## ブレインバンクとは

アルツハイマー病やパーキンソン病などの老化性疾患は、脳や脊髄の神経細胞がうまく働かなくなるために起こる病気です。

このような疾患の原因や病態は未だ解明途上であり、発症メカニズムを明らかにし治療法開発へつなげるために死後脳研究は欠かせません。

ブレインバンクはヒト脳を系統的に蓄積し、疾患克服のため尽力する医学研究者へ提供することにより、今後の医療の発展に貢献しています。



## 事前ドナー登録のご案内

～次世代のために～

ブレインバンクへの事前ドナー登録は、自ら熟慮し、死後に脳をブレインバンクに寄託することで、医学研究に役立てたいという意思表示をし、その篤志を登録していただくものです。事前登録者が亡くなった時にご遺族が同意していただければ、死体解剖保存法にもとづき、同意の内容に応じて死後脳を高齢者ブレインバンクに保存し、医学研究に使わせていただきます。

**ブレインバンク事前登録カード**

本カード所持者は「高齢者ブレインバンク」への事前登録者です。

事前登録者の死亡時に、ご遺族がその意思に同意いただける場合には、事務局へ電話連絡をお願いいたします。

☎ :XX-XXXX-XXXX 内線XXXX (月～金 9時～17時)

☎ :XXX-XXXX-XXXX (上記以外の時間帯)

高齢者ブレインバンク事務局  
(東京都健康長寿医療センター内)  
〒173-0015 東京都板橋区安宗 35-2

私は、「高齢者ブレインバンク」の趣旨に賛同し、死後に脳を医学研究のために提供する、事前登録をしています。

同意日付 20 年 月 日

本人署名 \_\_\_\_\_

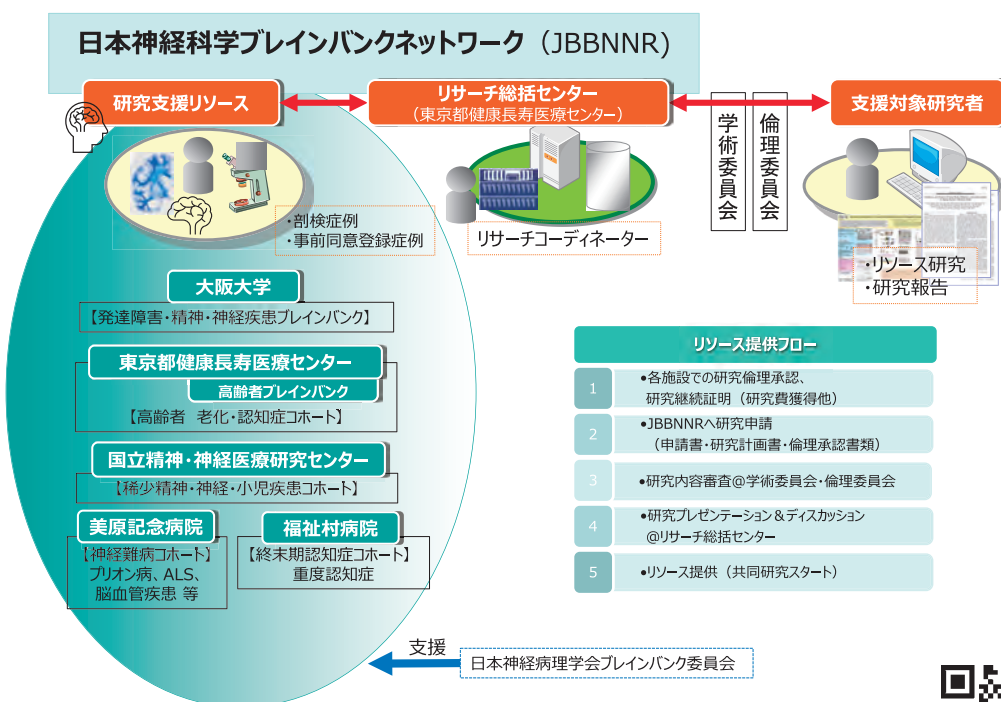
登録番号 \_\_\_\_\_

私は事前登録をしましたが、その意思を撤回し脳を提供しないことに決めました。

撤回日付 20 年 月 日

## ブレインリソースの整備と活用支援について

文部科学省学術変革領域研究費の支援を受け、日本神経科学ブレインバンクネットワーク (JBBNNR) を構築し運用しております。死後脳リソースを提供し、国内外の医学研究を支援しています。



高齢者ブレインバンク事務局 03-3964-3241 (内線 4419)

地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター ホームページ <https://www2.tmig.or.jp/brainbk/>



リサイクル適性 (A)  
この印刷物は、印刷用の紙でリサイクルできます。